## ユニセフ出前講座報告

2023 年 8 月 5 日 (土) 親子ユニセフ学習会 in やはぱーく 13 名参加

いわて生協 盛南コープ企画 「親子ユニセフ学習会」に講師として 出かけました。内容は、大きく3つ。

- ・ユニセフとは
- ・世界の子どもたちの状況
- ユニセフの支援

ユニセフはどんな団体か、日本との関りなどをお話して、世界の子どもたちの状況の DVD を鑑賞後、ユニセフの支援を説明しました。



世界には学校に行けず、働かなければならない子どもも。日に何度も水を選ぶための水がめ、マラリア感染から身を守るための蚊帳(かや)、栄養状態を測るための命のメジャーを実際に体験していただきます。

<u>企画参加のお由込み、お問い合わせ</u>いわて生協、組合員活動チーム (月~土 9時~18時) TEL 019-603-8299 Email <u>snisoshik/@todock.coco</u> ① お名前とお子さんの学年 ②電話番号 ③日時・企画名 メール申し込みQ Rコー

(909) いわて生協

ネパールで使われている水がめやマラリア予防の蚊帳は、体験コーナーで触れてもらいました。 水を汲むために1日を費やす女の子のDVDは、印象に残った様子でした。日本では考えられない状況が 世界の子どもたちにはあると知って驚いたり、自分の環境を考えたりする機会になったようでした。ユニセフ募 金の使われ方もわかってよかった、との感想もありました。このような機会を広げていきたいです。



ユニセフの支援を説明



水がめを持ってみよう



蚊帳に入ってみよう

## 参加者の感想

- ・テレビの CM などで、活動や世界の子どもたちの状況は知っていたものの、なんとなく…募金はちゃんとこの子たちに届いているのか…という気持ちもありましたが、今日のお話を聞いて、いろいろな形で支援されていることを知れてよかったです。少しずつでも支援していきたいと思います。
- ・ユニセフの活動が良く分かった。水汲みの大変さを体験できてよかった。詳しく知れてよかった。
- ・学校に行けない理由が水くみ!近くに井戸や水道を作るユニセフの活動素晴らしい。
- ・世界には、日本と同じように生活できない子どもがたくさんいるんだなと思いました。水をくむのにたく さんの時間がかかることがわかりました。
- ・らくだが水を運ぶなんてすごいなと思いました。(小学生)
- ・日々の忙しさの中で、他のことに目を向けることがなく、今回夏休みで孫にも知る機会を与えていただき、 ありがとうございました。
- ・世界には思ったよりも大変な状況で生活している人が多くて驚いたし、平和な日本に生まれたことに感謝 したいと思った。自分にも募金などで出来ることに参加し、「助ける」ではなく「支援する」側になれたら 良いと思った。(中学生)